

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	9				シート作成者		-		-	
事務事業名	(仮称)まちづくりセンターの調査研究				事務区分	自治事務		部課かい名	都市部景観みどり課	
事業の目的	市民・事業者・行政の連携と協働によるまちづくりを目指す。				事業の目標	景観まちづくり活動の支援を通して、まちづくりセンターに期待される機能を検討し、景観まちづくり活動の流れに対応する支援の充実を図る。				
事業の概要	景観法を活用し、市民・事業者・行政が連携・協働してまちづくりを進めるため、都市景観の側面から本市のまちづくりを総合的にとらえ、専門的な知識の裏付けをもって事業展開することにより、行政だけでは為しえない住民主導型のきめ細やかなまちづくりを持続的に推進するため、(仮称)まちづくりセンター及び(仮称)まちづくり基金の設置について調査・研究を進める。									
対象	市民団体、事業者				事業の性質区分	政策		業務計画	□	
指標	調査・研究(第2次実施計画) 景観計画の改定(第3次実施計画)									
27年度(第2次実施計画)			28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)			30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値		目標値	実績値	目標値	実績値		目標値	実績値	
調査・研究	調査・研究		基本的考え方の構築		素案の作成 パブリックコメントの実施			改訂完了		
			27年度	28年度	29年度	30年度				
事業費	実施計画事業費	-		2,294,000	5,343,000	3,507,000				
	予算額	0		2,294,000						
	決算額	0								
	執行率									
	従事者数	0.2		1.27						
財源内訳	職員	0.2		1.27						
	臨時・非常勤等									
	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源			2,294,000						

※金額については1円単位で記入してください

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>国における公益法人制度改革の進展や、茅ヶ崎市における協働推進事業の活性化など、協働を推進するための枠組みが広がってきている一方で、積極的に景観まちづくりを進めたい意向のある地域への支援が十分とは言えず、景観まちづくり市民団体が育ちにくい状況がある。また、現状登録されている景観まちづくり市民団体相互における情報の共有や事業展開におけるアドバイスを受けにくい状況にある。地域のまちづくりに取り組んでいる団体等の支援について、本市での主体のなり手が定まっていない状況にあるため、(仮称)まちづくりセンターを設立し、きめ細やかなまちづくりを持続的に進めていくために、住民や市民団体等との協働を視野に入れた検討が必要である。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>(仮称)まちづくりセンターにあたっては、既に市で行われている「市民活動サポートセンター」や「まちぢから協議会」などの各種事業についての検証、他自治体(世田谷区、柏市)で既に行われているまちづくりセンターの機能範囲の確認、松風台自治会の景観まちづくり活動の支援を通して市民ニーズの方向性や市民活動団体からの意見収集を行い、市内部でのセンター設立についての是非について景観まちづくり審議会で報告し意見をいただいた。また、市民活動団体等との協働事業を進め、第三者機関などへの業務移行も含めて市民ニーズを把握しながら、調査研究を進めてきた。</p>
事務効率	<p>既にある市民活動サポートセンターが行政と市民団体とのマッチング、相談業務を行っており、まちづくりセンターとそれら施策は重複している。また、まちぢから協議会や、浜見平地区や赤松町でのエリアマネジメント組織も立ち上がり、市民参画の景観まちづくりが、民間事業者主体で進んでいることから、検討は非効率である。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>実施手法を十分検討したが、成果が見込めない(廃止)</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業の廃止	<p>第3次実施計画においては、景観計画推進事業の中の活動として位置付けを行った。 28年度より、景観計画の改定作業に併せ、現行計画の総括評価を行う。評価の中で、まちづくりセンター及びまちづくり基金を設置しないこととし、次期計画の位置づけをしないこととする。なお、評価は、事務局で作成し、審議会上で、答申を頂く。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容


[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	17			シート作成者	-	-	
事務事業名	緑化まつり事業	事務区分	自治事務	部課かい名	都市部景観みどり課		
事業の目的	春の市民まつりに併せ、「みどりフェアちがさき」を開催し、市民への緑化意識の普及、高揚を図る。	事業の目標	春の市民まつりに併せ、「みどりフェアちがさき」を開催する。				
事業の概要	みどりフェアちがさき実行委員会との開催等に関する事務調整を進める。						
対象	市民	事業の性質区分	定例・定型	業務計画	<input type="checkbox"/>		
指標	実行委員会との事務打ち合わせ回数(第2次実施計画) みどりの基本計画の改訂(第3次実施計画:みどりの基本計画推進事業に含んだため)						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
4回	5回	みどりの現況調査の実施		素案の作成 パブリックコメントの実施		改訂完了	
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
事業費	実施計画事業費	-	2,939,000	3,551,000	5,022,000		
	予算額	650,000	3,339,000				
	決算額	589,032					
	執行率	90.6%					
	従事者数	0.12	0.88				
財源内訳	職員	0.12	0.88				
	臨時・非常勤等						
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
その他							
一般財源	600,000	2,939,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>当該事業は「みどりととのふれあい、みどりへの普及啓発を図ることで、広く市民の理解と協力を得て、緑あふれるまちづくり」を目的として、春の市民まつりに併せて「みどりフェアちがさき」を開催するものであり、みどりととのふれあいの場の提供や茅ヶ崎の自然環境の周知などの役割を果たしている。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	春の市民まつりに併せて開催する「みどりフェアちがさき」では緑の相談所・木工教室・かざぐるまづくり・ハーブを楽しむ教室・坪庭展示・椎茸菌打ち体験・みどりのパネル展示などのブースで市民がみどりと触れ合うことで、緑化に対する理解を深める場を提供している。また、「茅ヶ崎市緑のまちづくり基金」への募金呼び掛けしており、例年約130,000円の寄付金を集めている。
事務効率	市民との協働により事業を推進するため、市内で緑化を推進する団体が構成されるみどりフェアちがさき実行委員会(浜見平団地自治会みどり委員会・萩桜会・新宿草遊会・茅ヶ崎緑化協会・茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会・茅ヶ崎・ハーブを植える会・ホームタウン茅ヶ崎自治会)へ委託している。しかし、まつりを安全に実施するために必要な警備委託料や保険料の増加、みどりフェアちがさき実行委員会会員の高齢化などによる人手不足などが課題となっている。
<div style="text-align: center;">  </div>	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>成果があがっているが、実施手法は効率的でない</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>第3次実施計画においては「みどりの基本計画推進事業」に統合した。</p> <p>事業をより効果的に推進するため、まつりの内容をより目的を意識したものに見直していくことや寄付額の増加に向けた働きかけを行っていく必要がある。</p> <p>具体的には、まつりの内容を見直し、みどりととのふれあいに特化したブースに絞り込むことを検討し、事業の効率化と事業費を削減する。また、春の市民まつりに併せた独自開催を見直し、他のまつりと併せて開催する事やひとつのブースとして参加する事を検討し、事業費を削減する。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容


[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	20			シート作成者		-		-	
事務事業名	記念樹配布事業			事務区分	自治事務		部課かい名	都市部景観みどり課	
事業の目的	民有地緑化のため、新築をした建物所有者に記念樹を差し上げ、緑化の推進・高揚を図る。			事業の目標	・住宅新築に合わせたみどりの創出を推進する。				
事業の概要	住宅新築の際の、記念樹配布による緑化の推進と緑化意識の向上を図る。								
対象	市民			事業の性質区分	定例・定型		業務計画	<input type="checkbox"/>	
指標	記念植樹配布本数								
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)			
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
800本	551本	600本		600本		600本			
事業費	実施計画事業費	-	600,000	474,000	358,000	※金額については1円単位で記入してください			
	予算額	600,000	600,000						
	決算額	441,763							
	執行率	73.6%							
	従事者数	0.28	0.34						
	職員	0.28	0.34						
	臨時・非常勤等								
財源内訳	特定財源								
	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
その他									
一般財源	600,000	600,000							

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
当該事業は「家屋の新築を記念して植栽しようとする者に対し、樹木を配布することにより、緑化の推進及び緑化意識の向上を図ること」を目的として実施している。住宅を含めた民有地緑化については、「茅ヶ崎市みどりの基本計画」において位置づけており、記念樹配布事業も「人生の思い出となる、住宅の新築などの記念に対して、記念樹を配布する事業に取り組みます。」として掲載されており、引き続き事業を推進する必要がある。	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	平成21～24年までの4年間に配布した2,421件を対象とした追跡調査で回答があった1,266件のうち、1,020件が順調に育っているとの事であった。平成25年度以降配布分も含め、民有地の緑化に貢献している。
事務効率	当該事業については、住宅を新築された方を対象として実施している。しかし、対象者の抽出、通知、通知後の問い合わせ、申込み後の発注事務、引き渡し事務等職員の事務量がかかっている。
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	現在、市で対象者(住宅を新築した者。約1,000件。)を抽出し、申請書類を郵送しているが、事務手続きが大きな負担となっている。また、対象者に対する申請者の割合が約55%となっている。 このため、対象者・対象範囲の見直しや郵送以外の申請方法、ライフイベント手続きと連携した周知方法の検討など、制度全体の見直しを行う。併せて、他の緑化施策(生け垣築造補助)との統合などによる事業の効率化の検討を行う。 なお、平成29年度の事業対象者(平成28年中に住宅を新築した者)には既存制度の説明を行っているため、業務改善スケジュールは、平成28年度:事業の見直し、平成29年度:新制度の周知、平成30年度以降:新制度実施を予定している。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]